

京都府立医科大学附属病院で救急診療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

救急診療に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は救急外来受診に関する研究「救急患者における救急医の役割に関する単一施設後顧的・前向き観察研究」を実施致します。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で救急外来を受診された患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。

研究の目的

救急外来は急病患者の皆様を診療する大切な場です。急病といっても様々な原因があり、一つの診療科にとどまらない診療が必要とされる場合も多くみられます。当院ではそういった幅広い疾患に対応するため救急医療専従の医師が診療を一部担っています。現在の診療内容を客観的に調査し、今後の診療の質を高めることを目的とします。

研究の方法

・対象となる患者様について

2011年4月1日～ 2020年3月31日 の間に京都府立医科大学附属病院救急外来で救急診療を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

救急外来を受診された患者様のカルテを調べ、その診察内容（受診日時、診断名、治療、入院の有無など）を調査させていただきます。集積されたデータを分析することによって、救急外来のシステム構築など、診療の質向上を目指します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、診療を受けられてから1年以内に下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都府立医科大学 救急医療学教室

職・氏名 専攻医・仁平 敬士 電話：075-251-5393

研究責任者 京都府立医科大学 救急医療学教室 教授 太田 凡